

ここでも起こるかもしれない！ 消防訓練は充分か？



夜間消防訓練



水素化ナトリウムの燃焼実験

最初の写真は夜間の消防訓練の様子である。2番目は、水素化ナトリウムによる火災事故の後に実施した水素化ナトリウムの燃焼実験で、周囲を消火剤で囲んで行ったものである。

**火災の発生を防止するため、または火災への安全かつ正しい対処を
確実に行うためにすべきことがある。**

火災予防と計画

- ☑ 想定される火災のシナリオを理解し、火災を通報する手段を知ること
- ☑ 引火性液体や可燃性粉塵を取り扱う際には、静電気着火を防止するために、ボンディングおよびアース線をチェックすること {PSIDのメンバーは事故事例422を参照}
- ☑ 自分の避難ルート、緊急避難場所と集合場所を確認しておくこと
- ☑ 可能な限り、毎年消火器訓練を受けること
- ☑ 異なる種類の火災（ごみ、引火物/可燃物、電気または金属）には、異なる消火剤が必要である。可能性のあるすべての火災に対して適切な消火設備を持っていることを確認すること

火災への対応

- ☑ 消火活動を開始する前に、必ず火災報知機を鳴らすこと
- ☑ 消火活動を開始する前に救援を求め、確実に救援が来るようにすること
- ☑ 事前に消火訓練を受けていなければ、消火活動を行ってはならない
- ☑ 消火活動を行う際は、障害物の無い安全な退路を確保すること
- ☑ 衣服や髪に火が着いた場合は、「消火活動を止め、倒れ込んで転がる」こと
- ☑ 危険物への暴露に対する治療方法も含め、火災が発生した後の危険物の取り扱いと処分について緊急対応計画を立て、訓練を実施すること

2003年5月にCCPSから発行予定の書籍「防火のためのガイドライン」を見ること

AIChE© 2003. 不許複製。非営利的な教育目的のための複写は奨励する。ただし、販売目的のための複写は、CCPS以外のいかなる者に対しても禁止する。

連絡先：ccps@aiche.org または 212-591-7319

<http://www.aiche.org/ccps/safetybeacon.htm>